

1. 単学級しかないという状況はダメだと思うが、中3の大事な時期に色々と子ども達に負担がかかってしまうのが心配。担任、クラスの編成はどうなるのか教えて欲しい。

(回答)

クラス編成については、大阪市のルールに則り、1クラスあたり40名という基準を変更することはできません(※)。新たな学校の生徒数とクラス編成については平成31年度に中学校を再編した場合、3年生は84名となり、1クラスの生徒数は28名、3クラス編成になると見込んでいます。また、クラス担任については、通常の人事異動と同様、前年度の3月に決定しますが、両校の教員をバランス良く配置する等、生徒への影響に配慮してまいります。

(※公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律により、1学級の児童・生徒数は40人を標準とすることが定められており、教職員についても、学校規模により定数が定められています。なお、大阪市では、1クラスあたりの子どもの数は、小学校1、2年生で1学級あたり35人、3年生以上で40人となっています。)

2. 場所が現在の勝山中学校になった場合、中学生なので距離的には問題ないと思うが、勝山中学校のまわりの環境に不安が多く、反対される方の声もよく聞く。まず、子ども達の通学を安全にできる環境を(市が)整えてから対話をしたい。勝山中学校の回りに街灯が少ない(暗い細道が多い)。疎開道路沿いの歩道が狭く、信号待ちのスペースも狭い。

(回答)

通学時の安全確保については、勝山中学校・鶴橋中学校学校設置協議会で委員のみなさんにご確認いただきましたとおり、安全面で不安な点についてご意見等がある場合は、学校設置協議会等の場において議論をしていくこととしております。

今後も、学校設置協議会で議論を行い、実現可能な安全対策について検討と対応を進めてまいります。また、校区内の危険箇所の点検等についても学校設置協議会の委員のみなさんとともに行っていきたいと考えています。

3. 思春期真只中の子ども達が開校に突入した時のメンタル面、いじめ等が心配です。

(回答)

学校間においては、再編前からの交流等、できるかぎり生徒に影響が出ないように配慮しながら取組を進めます。

また、生徒のメンタル面や友人関係のトラブル等については、これまで通り、丁寧に対応していきます。

**4. 新しい中学校と現在の中学校のクラブやクラスイベント行事がどのように変わるか教えて欲しいです。**

(回答)

再編後の学校は各学年3学級規模と想定していますので、新たな学校の規模に見合った部活動数を検討する必要があるため、今後、学校で現在活動している生徒のことに配慮しながら検討していきます。

また、クラスイベントについても同じく、現在各中学校で行われている行事等を参考に、学校と相談しながら検討していきます。

なお、行事等決定した事項については、協議会等で報告していきます。

**5. 学校名や制服が変更になると知人から聞いたのですが、変更する必要があるのか？予算的にも色々疑問です。あと、ちょっと遠い北鶴と勝山小の端の子ども達の近い中学校での選択肢も考えた方がいいかと思います。**

(回答)

学校名については、歴史、地域の由来、経過などをふまえ、将来にわたって生徒達や、地域の方々に誇りと憧れを持たれるような魅力あるものとなるようにするため、勝山中学校・鶴橋中学校 学校設置協議会における決定事項としています。また、標準服については、設定するかどうかも含めて、学校設置協議会で話し合っていたく予定です。近隣の中学校を選択できるような制度についてですが、現在、生野区では、区内東側エリアで学校選択制（特定地域選択制）を導入し、教育活動など学校の特色で就学する学校を希望できる機会を提供しています。学校再編に合わせて、区内西側エリアにおいても、学校選択制の導入を検討してまいります。

なお、本市においては、小中学校の通学区域の設定は各区長の権限において行うこととしています。学校選択制についても、各区長の判断及びマネジメントにより導入または検討を行っていることから、行政区を超えての就学については、引っ越しや保護者の就労等やむを得ない理由がない限り原則として認められていません。

**6. 子ども達が複数クラスになる事で得られるプラス面を取り上げて、不安感をあおることなく、取り除いてほしい。**

(回答)

適正規模の学校になれば、クラス替えにより、生徒に新しい人間関係を構築する機会を提供できるようになります。また、学習面においても、1学年の人数が多くなる分、数多くの意見を引き出す集団授業と、きめ細かい指導ができる習熟度別指導の併用がより実施しやすくなります。また、教員数は学校規模によって定められているため、再編によって中学校に配置される教員数が増えるというプラス面もあります。

これらについては、平成29年11月28日および12月4日に開催した「勝山中学校・鶴

橋中学校 学校整備計画（案）」説明会にて、両校の保護者・地域住民の方々に対し、ご説明させていただきました。また、平成 29 年 12 月より開催されている勝山中学校・鶴橋中学校 学校設置協議会においても、新たな学校の教育内容について情報提供を行い、不安をできるだけ軽減できるよう、努めてまいります。

- 7. 現勝山中学校に通うという事になると現鶴橋中学校地域の子ども(親も)は、合併というよりも吸収されるイメージは否めない。鶴橋中学校に入学して途中新学校という子ども達に対し、授業や部活動を通して事前に交流させて欲しい。勝中の先生が鶴中で授業、逆も(週一とか)場所、時間配慮願う(親にも)**

(回答)

各学校間においては、再編前に、学校の規則や行事、部活動のすり合わせなど、新しい学校の教育内容についての協議を行い、学校再編によって生じうる課題についても丁寧に検討するほか、再編前からの交流や学習面での調整等、できるかぎり配慮しながら取組を進めます。

なお、保護者の方に対する配慮についてですが、子どもたちにとってのより良い教育環境づくりのため、保護者、関係地域のみなさんと、新たな中学校の詳細事項を検討、決定する場として設置された「協議会」にて、PTA 等各種団体に関するご質問にお答えしています。

- 8. 鶴橋中学校が売却となった場合、起こりうる震災の時のために備えている物資は移動となるようですが、移動先は中学校と同等の倒壊しにくい建物を選ぶ必要があります。今後、検討するにおいて候補となる場所はありますか。**

(回答)

備蓄物資については、近隣で指定している避難所への移動を検討しています。

- 9. 今年の1年生の修学旅行は2年生の秋だと聞きました 来年の1年生と再来年の1年生の修学旅行はどうなりますか。あと、一泊移住も来年の1年生と再来年の1年生はどうなりますか。**

(回答)

新たな学校の開校時期が「平成 31 年 4 月を目標に進める」となったことから 来年度(平成 30 年 4 月)の入学生、再来年度(平成 31 年 4 月)入学生の修学旅行は、いずれも新たな学校での 3 年次に実施することとなります。

一泊移住については、来年度の入学生は泊りではなく校外学習で実施することとしており、このことは平成 30 年 2 月 8 日開催の新生保護者説明会の場でもご説明しております。

また、再来年度の入学生は、新たな学校で一泊移住を行われるものと考えております。